

事務事業評価シート(平成26年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
31521	公共下水道整備事業	建設水道課	下水道工務係	小野 耕一	田中 博	
		一次評価年月日	平成 27 年 6 月 8 日	連絡先〔内線〕	2167	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 特別	5702		公共下水道事業		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A		
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	地域基盤整備	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	5項	下水道事業の推進	
		目〔主な施策〕	(コード選択)	2目	安定した下水処理の推進	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他		
事務期間	(開始) S63 年度 ~ (終了予定) H42 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
公共下水道認可区域内の町民及び下水道施設利用者
②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。
下水道の事業認可面積の汚水処理整備率を100%にする
③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。
1 認可区域内の下水道管路未整備区域の把握
2 必要に応じ、下水道管渠工事・公共マス設置工事を施工する
3 整備地区の供用開始告示
4

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		25年度	26年度	27年度 (見込み)	達成率	42	年度 (見込み)		
①	指標名	汚水整備済面積		ha	694	694	694	1.00	817
	説明	下水道認可区域内における整備済面積		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	事業認可面積				
②	指標名								0
	説明			算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		25年度	26年度	27年度 (見込み)	達成率	42	年度 (見込み)		
①	指標名	下水道整備率		%	100	100	100	1.00	100
	説明	下水道認可区域内における整備済面積の割合		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	認可区域に下水道整備を行うことで接続可能となる				
②	指標名								0
	説明			算出方法・計算式・目標値設定の考え方等					

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度見込み
		12,979	5,288	5,935	47,816
対前年比	%		40.7	112.2	805.7
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0	30,000
B) 一般財源(税金)		12,979	5,288	5,935	17,816
①事業費	(千円)	12,329	4,641	5,292	45,800
対前年比	%		37.6	114	865.5
②人件費の概算	(千円)	650	647	643	2,016
対前年比	%		99.5	99.4	313.6
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)		650	647	643	2,016
臨時職員		0	0	0	0
人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)		0.00	0.00	0.00	0.00

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある	B 変化していない	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 住宅等新築時の問い合わせ。道路新設時の要望。
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある	C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である	B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している	B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった	B 概ね期待したとおりの成果があった	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している	B 今後は可能性がある	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 下水道水洗化促進事務事業
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし	B 当面は余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	C 一部検討の余地あり	D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	C	A すでに実施している	B 可能	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

<今後の展開方針>(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	27年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
都市計画用途地域内農地の宅地化に伴う管渠整備、区域内道路新設に併せて行う管渠整備による面整備(管渠工事)のみを継続する。	[反映内容] 管渠支線設計委託費・工事費、上辰野中道線設計委託費、下辰野新屋敷・上辰野中道線管渠工事費

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
供用区域内の宅地化や道路新設に対応するため、継続して実施。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a~e を選択